

治療審査委員会申請書類

患者ID : _____

患者氏名				生年月日			年齢			性別		
診療科			区分	☐	階病棟	☐	外来	申請医師名				

診断名							Stage			Performance Status			
告知内容													
治療方法	プロトコール名	オブジーボ+ ヤーボイ+CBDCA+PEM併用療法									告知Grade		

投与計画	身長	cm	体重	kg	体表面積	m ²
	血清クレアチニン	ml/dl	Cockcroft-Gault		性別無し ml/min	
	AUC		に設定		※女性は0.85を掛けています	
	《化学療法併用期間》					
	オブジーボ	360	mg(固定量,d1)	3週間毎	●	オブジーボ+ヤーボイ併用投与へ続く
	ヤーボイ		mg(標準量 1mg/kg,d1)	6週間毎	▼	
	アリムタ		mg(標準量 500mg/m ² ,d1)	3週間毎	■	化学療法は2コースで終了
	カルボプラチン	#####	mg(標準量 AUC5~6,d1)	3週間毎	◆	
	カルハート式: AUC × (GFR+25)にて計算					
	《オブジーボ+ヤーボイ併用投与》					
オブジーボ	360	mg(固定量,d1)	3週間毎	●	7w 8w 9w 10w 11w 12w 13w 14w 15w 16w 17w ...	
ヤーボイ		mg(標準量 1mg/kg,d1)	6週間毎	▼		
上記の投与間隔で繰り返す						
《点滴内容》 投与2回目は④⑤なし→オブジーボ+ヤーボイ併用時⑥~⑧なし、オブジーボ単独時④~⑧なし						
① 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)						
② 生食50ml (オブジーボ用 プライミング・ルートフラッシュに使用)						
③ オブジーボ 360 mg + 生食100ml 200ml/hr(30分以上かけて) ※0.2又は0.22 μmフィルター使用 ※投与終了後 30分以上間隔をあける						
④ 生食50ml (ヤーボイ用 プライミング・ルートフラッシュに使用)						
⑤ ヤーボイ mg + 生食30ml 60ml/hr(30分) ※0.2~1.2 μmフィルター使用 ※投与終了後 30分以上間隔をあける ヤーボイ37mg(BW37kg)以下は生食20mlに減量する 40ml/hr						
⑥ ハロノセロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + テキサート6.6mg 1.5V[9.9mg] 120ml/hr 30分かけて投与						
⑦ アリムタ mg + 生食100ml 600ml/hr(10分)						
⑧ カルボプラチン #VALUE! mg + 生食250ml 250ml/hr(1時間)						
内服薬(化学療法併用時)						
デカドロン4mg 1回1錠 1日2回 朝食後 2~4日目に内服						
化学療法開始1週間前より メチコバル500 μg 2A 筋注 9週間ごと (アリムタ投与終了22日目まで)						
化学療法開始1週間前より パンビタン末 1日1回 朝食後 1回1g内服 (アリムタ投与終了22日目まで)						
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日						

併用薬												
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 () , HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()											
特に注意を要する副作用備考	間質性肺疾患、重症筋無力症・心筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・小腸炎・重度の下痢・消化管穿孔、1型糖尿病 免疫性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、無顆粒球症、劇症肝炎・肝不全・硬化性胆管炎、甲状腺機能障害 下垂体機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症、結核、肺炎など ・インラインフィルター使用 (オブジーボ0.2又は0.22 μm、ヤーボイ0.2~1.2 μm) ・ヤーボイ希釈濃度は1~4mg/mlとすること											
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可											

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日